

XX

護爲不受教令。離其土壤。攻伐葛祿吐蕃、擧旗斬馘、追奔逐北、西至拔賀那國。俘獲人民及其畜產。葉

XXI

九姓毗伽可汗復與歸順葛祿册眞珠智惠葉護爲主。又一箭三突、

騎、施

XXII

字內僧徒寬泰聽士安樂。自開法來、未曾降伏。

XXIII

有土中外國、委付里。

〔三十二字不明〕

定禍〔以下不明〕

第一章 碑文の文字と解釋

Radloff 氏が蒙古考古圖譜に收めたる此の碑文の寫眞の外、余輩は別に盛京省副都統たりし三多氏が蒙古に在任中、人をして作らしめたる拓本と、大谷光瑞氏の派遣せる野村榮三郎氏の製作したる拓本及び和林金石錄に収録せる所とを参照して、Schlegel 氏の讀みたる所と比較せるに、後者は大體に於て誤る無きが如しと雖、尙こゝに添